

# 公×民でつくる「ずっと元気な山口」



全国的に人口減少や少子高齢化などが進む中、地域社会の課題解決や地域経済の活性化を図るためには、行政のみで対応するのではなく、さまざまなノウハウやネットワークを有する大学や企業といった、多様な主体と連携する、公民連携の取り組みが必要になっています。

本市ではこれまで、市内の大学や企業等との連携協定の締結や産学金官が一体となった「やまぐち地域共創プラットフォーム」の設置、企業人材の受け入れなど、さまざまな公民連携の取り組みを通じ、市民サービスの向上や社会課題の解決等を進めてきました。

## 公民連携推進室を設置し、 新たな取り組みを進めています



公民連携推進室では、従来の連携の取り組みに加え、企業等からの提案を一元的に受け付けるワンストップ窓口の設置や、成果運動型民間委託契約の手法を用いた実証事業の実施、ふるさと納税制度を活用した市民が主体的にまちづくり等に参画できる仕組みの構築など、公民連携の新たな取り組みを進めています。

次ページから、具体的な取り組み事例をご紹介します。

☎ 公民連携推進室 083・934・2728

# 大学等との連携

本市には、大学をはじめとする高等教育機関が集積し、多くの学生が学び、生活しています。本市では、こうした「学都山口」の特性を生かし、学びのまちづくりによる人材育成を図るとともに、地域課題の解決や魅力的なまちづくりを進めています。

## 学生によるまちの魅力発信

本市では、市内に立地する山口大学、山口県立大学、山口学芸大学および山口芸術短期大学と包括的連携・協力に関する協定を締結し、連携してさまざまな活動を行っています。

令和6年度からは、大学生に「若者目線で、地域資源の再発見」をテーマに、ショート動画を制作していただき、山口市公式YouTubeチャンネル「やまぐちゃんねる」に掲載しています。

令和7年度には、学生主体のコンテスト「Y・11大学グランプリ」が開催され、市内の大学生から、「観光」「歴史」「市政」等のテーマで、計33本の動画を応募いただき、「やまぐちゃんねる」に掲載しました。そのうち、各テーマの再生回数が多かった動画について、プレゼンテーションと上映、審査を行いました。



学生たちは、動画制作を通して、若者目線で幅広い世代への情報発信に取り組んだほか、本市の魅力を再認識し、本市への愛着を深めていました。



▲動画の閲覧  
はこちらから

## まちなかのにぎわい創出

市内の大学や産業界、金融機関、本市で構成する「やまぐち地域共創プラットフォーム」を令和4年度に設立しました。このプラットフォームのプロジェクトの一つとして、地元企業や大学生をはじめとした若者等の参画による、市内のにぎわいや交流創出の取り組みを進めています。

この取り組みの一環として、令和6年度から、山口商工会議所が中心となり、本市がクリスマス市となる12月に、中心商店街において「クリスマスマーケット」が開催されています。

このイベントには、市内事業者や商店街の店舗と一緒に、市内の大学生も参加しました。学生は、イベントの運営補助や、ステージでのダンスや演劇などの披露、クリスマスらしいハンドメイド雑貨等の販売、子ども向けクイズラリー等のワークショップを実施し、イベントを盛り上げました。



今年度のイベントには、約1万8千人が来場し、市内事業者や大学生などの若者の参画により、まちなかに新たなにぎわいや交流が生まれました。



# 企業との連携

本市では、教育、福祉、防災等のさまざまな分野について、市内外の企業等と連携協定を締結し、協働で取り組みを進めています。

## ファーストリテイリングとの取り組み

本市は、令和5年度に株式会社ファーストリテイリングと包括連携協定を締結し、さまざまな取り組みを行っています。

その取り組みの一つとして、これまで市内の公立小中学校延べ19校で、「届けよう、服のチカラプロジェクト」を実施しました。本プロジェクトでは、児童・生徒が、ファーストリテイリングの社員から服の持つ力や難民問題について学んだ後、着なくなった服を回収し、難民や避難民などに届けます。

児童・生徒が社会課題への理解を深めるとともに、「身近に参加できる社会貢献活動を知る」ことを目的に実施しており、地域の方にも協力いただき、たくさんの服が集まりました。

また、ユニクロ女子陸上部の選手による、ランニング教室も市内の小学校で開催しました。選手から、学年や発達段階に応じた走り方のコツを直接教わることで、児童が体を動かす楽しさを学ぶとともに、地域内の企業と児童の貴重な交流の場となりました。



▲令和7年度に佐山小学校で実施したランニング教室の様子



▲令和6年度に白石中学校で実施した「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの様子

## 企業からの専門人材の派遣

本市では、「地域活性化起業人」などの国の企業人材派遣制度等を活用し、一定期間、企業から派遣された社員の方々に、市の業務に従事していただいています。企業人材を職員として受け入れることで、外部の視点や専門的な知見、ノウハウを生かした本市の課題解決や市民サービスの向上、地域活性化が図られています。

現在、5社から企業人材を派遣していただいており、農山村エリアの活性化や防災、デジタルなどの幅広い分野において活躍されています。



▲地域課題の一つである、草刈りの作業負担軽減のため、派遣者が各種実証を進めるリモコン草刈機

企業からの人材派遣状況（令和7年12月時点）

派遣元企業名	派遣者名	主な活動内容	着任日
株式会社アイシン	後藤 浩次	阿東地域の課題解決	R5.9.1
株式会社JTB	眞田 直也	観光客誘致	R7.4.1
中森農産株式会社	中田 紘平	阿東地域の農業振興	R7.4.1
NTT西日本株式会社	藏重 毅	スマートシティの推進	R7.7.1
KDDI株式会社	中村 映文	防災DX・観光DX	R7.11.1



▲連携協定を締結している企業一覧はこちらをご確認ください

## 山口市ずっと元気・ PFSプロジェクト

高齢者を対象に、魅力的なプログラムを提供することで、日々の生活の質を向上させ、社会参加を促進させることを目的とした実証事業を、株式会社YMF G ZONEプログラミングと令和7年度から行っています。

本事業では、市内の企業と協力し、高齢者向けの健康づくりにつながる教室などの開催や、こうした教室で実施されるプログラムの無料体験会などを実施する予定としており、令和12年11月まで実施します。また、この実証事業の運用には、新たな公民連携の手法として「成果運動型民間委託契約（PFS）※」を用いており、市内事業者の新しいサービス創出等による、地域経済の活性化も図ります。

※社会課題の解決を目的とした事業において行政が解決の指標を設け、その達成度に応じて委託事業者に報酬を支払うものです。



### 初のプログラム体験会を 開催します！

▼日時 2月21日（土） 9時30分～14時

▼場所 湯田温泉こんこんパーク（湯田温泉五丁目2・15）

▼内容 体を動かすプログラムのほか、脳トレやスマホ教室、ドローン操縦体験など、生活や趣味に役立つプログラムの体験を予定しています。

▼対象 市内在住の65歳以上の方（申し込み不要）

▼費用 無料

※詳細は下の二次元コードをご参照ください。



## ふるさと納税



▲詳細はこちらをご確認ください

本市では、ふるさと納税の仕組みを活用し、市民の皆さんが支援したい事業や取り組み等に寄附ができる仕組みを構築しています。現在、「文化財保護」と「動物愛護」の分野において、寄附金の募集を行っており、寄附の際に指定された特定事業の支援に活用します。また、市内在住の方も寄附をしていただくことが可能です。（返礼品はありません。）



文化財を保護し、歴史・文化の継承に取り組みます。



飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費を助成し、動物愛護に取り組みます。

message.

## 公民連携で進める 「ずっと元気な山口」の実現

社会情勢の変化などにより、行政に対するニーズが複雑化、多様化している中、本市では、こうしたニーズへの対応や社会課題の解決に向けて、企業や大学などのさまざまな主体との連携を進めています。

今後、多様な主体と連携・協力し、地域課題解決や市民サービスの向上、新たな事業機会の創出等を図ることで、市民、企業等がずっと元気に活躍できるまちづくりを進めていきます。